

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：防災費 目：消防指導費

事業名【新】岐阜県消防学校整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

危機管理部 消防学校 管理調整係 電話番号：0586-89-3226

E-mail：c21201@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 52,309 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	52,309	0	0	0	0	0	0	0	52,309
決定額	52,309	0	0	0	0	0	0	39,200	13,109

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

県消防学校は、市町村の消防職員や消防団員の教育訓練を行う県内唯一の機関であり、災害現場において第一線で活動を行う消防職員、消防団員に対する教育訓練を実施している。

屋外訓練場（グラウンド）では、通常点検、訓練礼式、体力錬成等を行うが、水はけが非常に悪く、雨が降れば数日間ぬかるんだ状態となり、訓練等を中断又は中止しなければならず、教育訓練の実施に支障をきたしている。

このため、より効率的・効果的な教育訓練を実施し、消防力の強化に繋げるため、屋外訓練場の整備等を行う。

(2) 事業内容

○屋外訓練場の整備

消防職員、消防団員が日常的に教育訓練を行う場所として校内に整備されている屋外訓練場（グラウンド）について、雨天時の影響を受けないアスファルト舗装を実施

- ・アスファルト舗装 舗装面積 6,622㎡

(3) 県負担・補助率の考え方

消防学校は消防組織法第51条により、県が消防職員及び消防団員の教育訓練を行うため、設置が義務づけられた施設であるため、県の負担が必要

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事請負費	52,309	舗装工事、側溝敷設工事
合計	52,309	

決定額の考え方

財源については、一般事業債を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

なし

(2) 国・他県の状況

消防学校グラウンドの地盤について、全国照会で回答のあった36都道府県中、31県がアスファルト舗装、2県が芝、2県が合成ゴム、土は1県のみ。

(3) 後年度の財政負担

アスファルト舗装の張替あり。
耐用年数10年（国税庁 減価償却資産の耐用年数表）

(4) 事業主体及びその妥当性

県施設の整備であり、事業の妥当性あり。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 岐阜県消防学校の屋外訓練場（グラウンド）を7月までにアスファルト舗装を実施。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

単年度で完結する事業であり、継続性がないため

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	
令和 3 年度	
令和 4 年度	

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 継続性なし
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 継続性なし

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】

県単独補助金事業評価調書

 新規要求事業

 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	
補助事業者 (団体)	(理由)
補助事業の概要	(目的) (内容)
補助率・補助単価等	定額・定率・その他 (例: 人件費相当額) (内容) (理由)
補助効果	
終期の設定	終期〇〇年度 (理由)

(事業目標)

・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
--